



こころみ

あなたのこころをみつめます

すべての孤独をなくす

July, 2016

## 自己紹介

---

### 神山 晃男（かみやま あきお）

- 1978年5月12日生まれ
- 長野県伊那市出身
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 5歳の息子と妻。 4人兄弟の末子
  
- 2001年-2003年 キャップジェミニ・アーンストアンドヤングにてコンサルティング業務に従事
  
- 2004年-2013年、投資ファンドのアドバンテッジパートナーズに勤務
  - ウイングアーク1st (2004-2013 監査役)
  - コメダ珈琲店 (2008-2013 取締役)
  
- 他、リクルート、かざか証券、キーポートソリューションズ等を担当
  
- 2013年に退社、株式会社こころみを設立

こころみのvision, mission, value

---

Vision; どんな世界を目指すのか

**すべての孤独をなくす**

Mission; その世界の実現のために何を行うのか

**コミュニケーションによって人をつなげる**

Value; どのような組織であるべきか

**究極の聞き上手テクノロジー集団**

## サービスラインナップ



## 親の雑誌

会話型見守りサービス

親のための自分史作成



コミュニケーションによって親子の絆を深める

親御さんを元気に！

親子コミュニケーションを活性化

お子様の、親御さんの状況把握を可能に



親御さんの元気で、お子様もハッピーに





他者との交流が週1回未満の高齢者は、要介護や認知症になる危険性が、毎日頻繁に交流している人より約1・4倍高まっていることが、日本福祉大の斉藤雅茂准教授（社会福祉学）らの調査でわかった。月1回未満の人は、要介護や認知症に限らず、すべての要因による死亡リスクも高まる。社会的に孤立するほど、健康への悪影響も深刻化することが明らかになった。

# 高齢者のステージ

ノンアクティブ向けに提供されているサービスがほとんどない

アクティブ  
シニア

- いわゆる団塊の世代が主体
- 自分をシニアと思っていない
- 完全に元気。

ノンアクティブ  
シニア

- 70代以降
- 身の回りは基本的に自分で見ることができる
- 一つや二つは、健康や生活に不安が出てきて歳を感じている

パッシブ  
シニア

- 要介護
- 問題点があり、常に誰かが見ていないと不安な状況
- 自分も「高齢者だ」と認識している

旅行商品

高級自動車

孫関連商品

この領域で

高齢者を元気に！

介護保険サービス

家事支援サービス

「つながりプラス」

# 絆を深める**会話型**見守りサービス

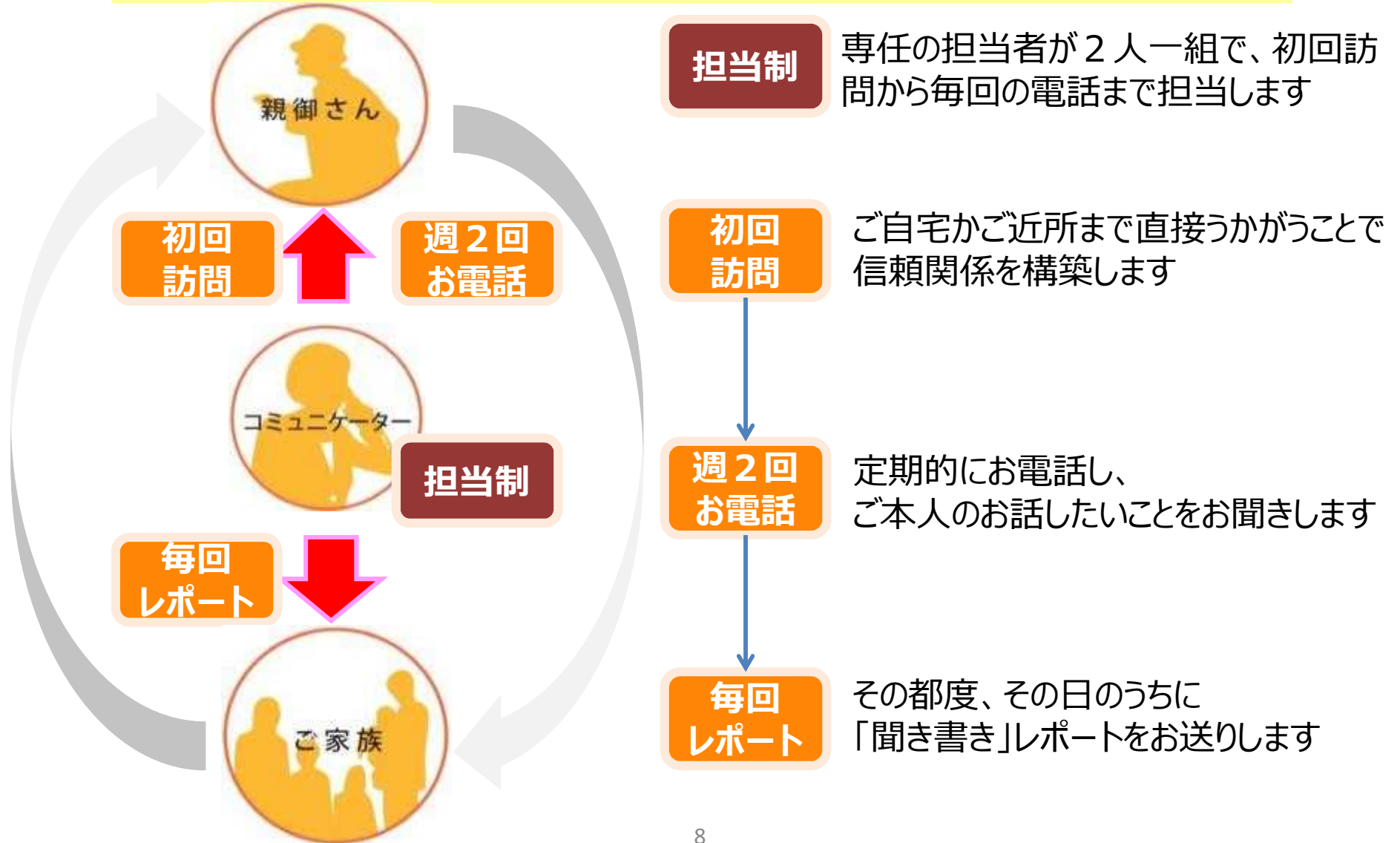
離れていても、  
伝わる心。





# 「つながりプラス」サービスポイント

## 担当制 初回訪問 + 毎週2回の電話 → メールで報告



# 聞き書きレポートサンプル

送信(S)	宛先...	tamotsu.wakasa@yahoo.com
	CC(C)...	
	件名(U):	【こころみ】 若狭保子様 10月8日 お電話結果報告

若狭 保様

+

10月8日 13時15分から10分間、若狭 保子様とお話させていただいた内容をご報告いたします。

今朝、風邪気味で病院に行かれたというお話でした。少し鼻声のご様子でした。

+

<お話の内容>

こんにちは。

暑いですねえ。今日は、もう30度を超えていますよ。まったく。

雨のあとだから蒸し暑いですねえ。でもうちのほうくらい山になると、夜は20度くらいまで下がって、温度の差が激しいんですよ。

今朝方、風邪気味だったので病院に行ってきました。でもまあ、お医者さんの言うには、熱はなくて、たいしたことないのでってということで。漢方薬だけもらってきて、飲んだら少し楽になったような気がしますよ。

ええ、でも無理は禁物だと思うので、しばらく外出を控えめにしようと思います。

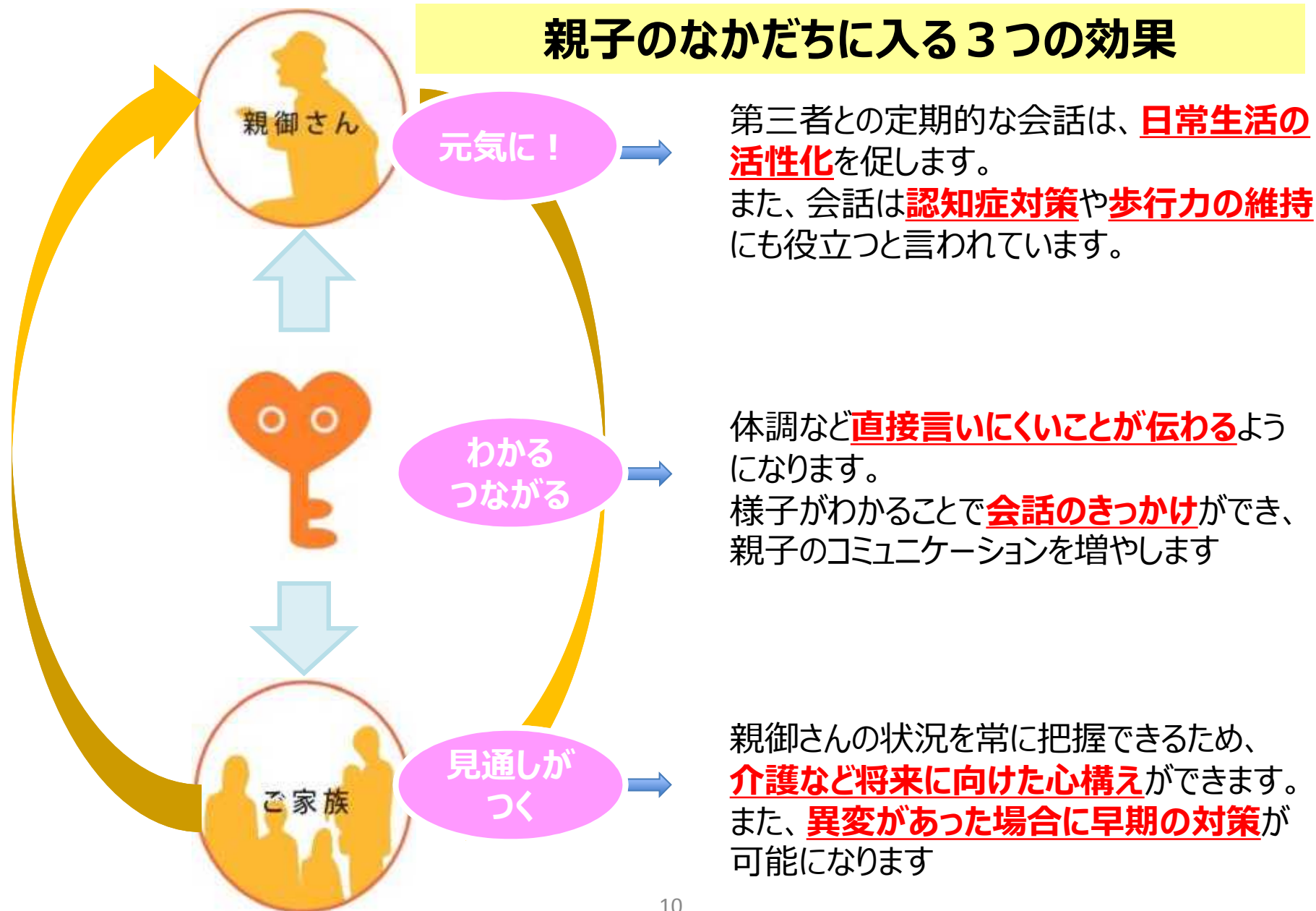
体は大事にしないとねえ、ほんとに。

今日の夕方からお友達と一緒にコンサートに行ってお飯を食べる約束をしているので、休めないんですよ。

だから明日はゆっくりしようと思います。

# 「つながりプラス」の効果

## 親子のなかだちに入る3つの効果



# 「傾聴」をコアスキルにした会社は他にない

老年心理学  
アプローチ



佐藤真一  
心理学教授

認知症に関する  
方法論



長谷川嘉哉  
精神科医

演劇  
アプローチ



小沼朝生  
俳優・著述家

消費者問題対応  
方法論

実会話からの  
フィードバック

傾聴スキル

プロの第三者が  
傾聴をするから  
家族以上に話せる  
関係ができる

ご本人の喜び

家族の負担減



「親の雑誌」について

## 日本初！“親のための自分史”作成サービス



「親の雑誌」は、親御さんに直接インタビューした内容をご家族にだけ向けて発行する世界でただ一つの雑誌です。

## 「親の雑誌」の特徴

### Point 1

**リーズナブルな価格設定で、  
気軽に作成可能！  
取材付きで7万円～※税別**



・「自分のため」ではなく、「自分の親のため」だからこそ、気軽な金額設定を実現しました。

・取材込みの制作価格は7万円で、数十万円から百万円程度必要な自分史と比較すると圧倒的に安価です。

・最少で5冊のみ作成できるため、100冊ほど作成するのが一般的な自分史のように、友人・知人に配布するなどの煩わしさもありません。

## 「親の雑誌」の特徴

### Point 2

お住まいを訪問し、  
インタビュー取材  
「話す」だけで作れるから  
煩わしさはありません



・雑誌制作の最初は、お住まいを訪問してのインタビューです。担当コミュニケーターが2時間～3時間かけて親御さんの歴史の振り返りをお聞きします。

・毎週2回の10分の電話インタビューでは、最近の出来事やご趣味などについてお話しいただき、ショートストーリーとして掲載します。電話インタビューは訪問した担当者が行うので、安心してお話いただけることも特徴の一つです。

## 「親の雑誌」の特徴

### Point 3

## 全16ページ、フルカラー×5冊をお届け 家族間でのコミュニケーションツールに

- ・最初の訪問取材から約2か月で雑誌が完成します。
- ・インタビュー記事と写真、プロフィールなどで構成された全16ページの雑誌は、世界でたった5冊しかない家族の宝物に。貴重な家族間コミュニケーションツールの誕生です。



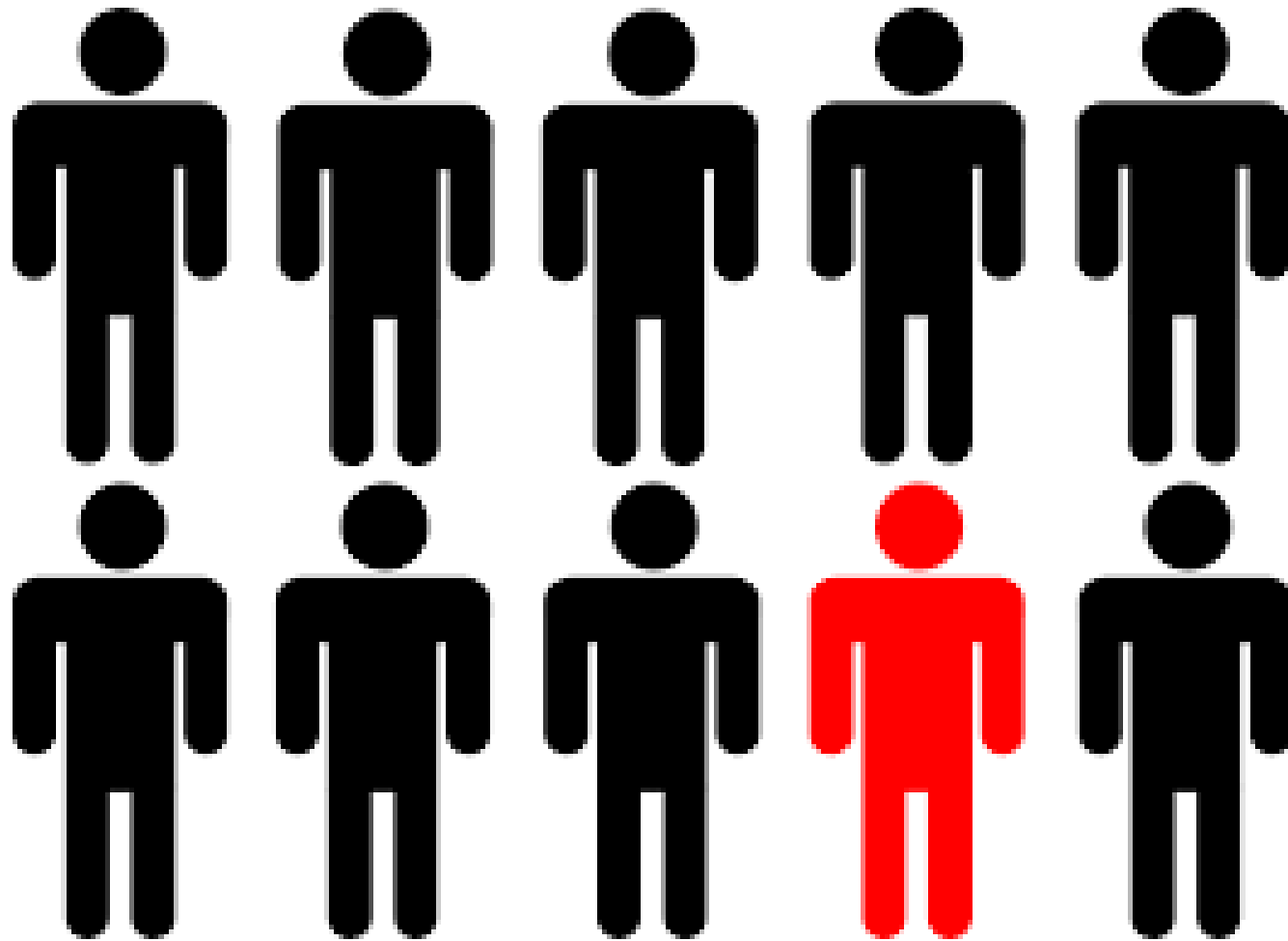


## 介護・保険外サービスの要点

## 介護・医療保険外サービスの要点①

---

オペレーションの優秀さや効率性ではなく、「特異性」で勝負する



## 介護・医療保険外サービスの要点②

---

**営業力が必要。**

**ただし、買ってくれる可能性がある人に話を持って行く力**



## 介護・医療保険外サービスの要点③

---

**必要性が低い分、購入前のストレスを極小化する**





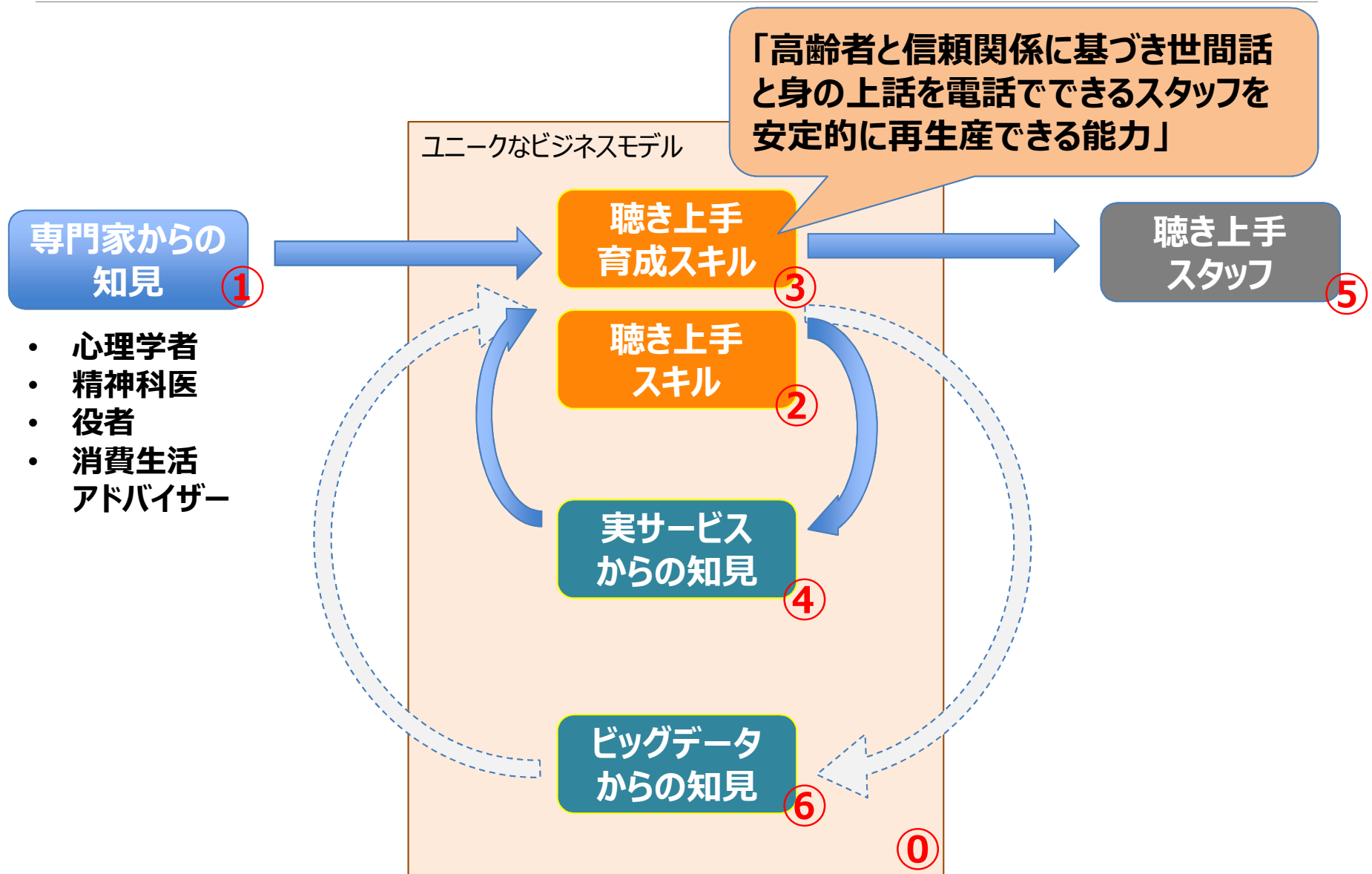
## 介護・医療保険外サービスの要点④

**何ができるか、ではなく「真のニーズ」を探る**



## こころみの提供価値と今後の展開

# バリュープロポジション強化の仕組み



④、⑥→②、③の再生産の仕組みがある限り競争優位性が維持される

# 自治体事例

## 山形県川西町

2016年1月-2月

- 18名の独居高齢者にセンサー見守りと週1回の見守り電話を提供
- 町直営の地域包括支援センターに都度レポート

- 高齢者の方に非常に好評
- 地域包括支援センターは訪問回数等を減らすことができ、職員の負担減に直結

特定の職員が自分の足で訪問、様子を把握。手が回っていない認識を持っている

## 鹿児島県いちき串木野市

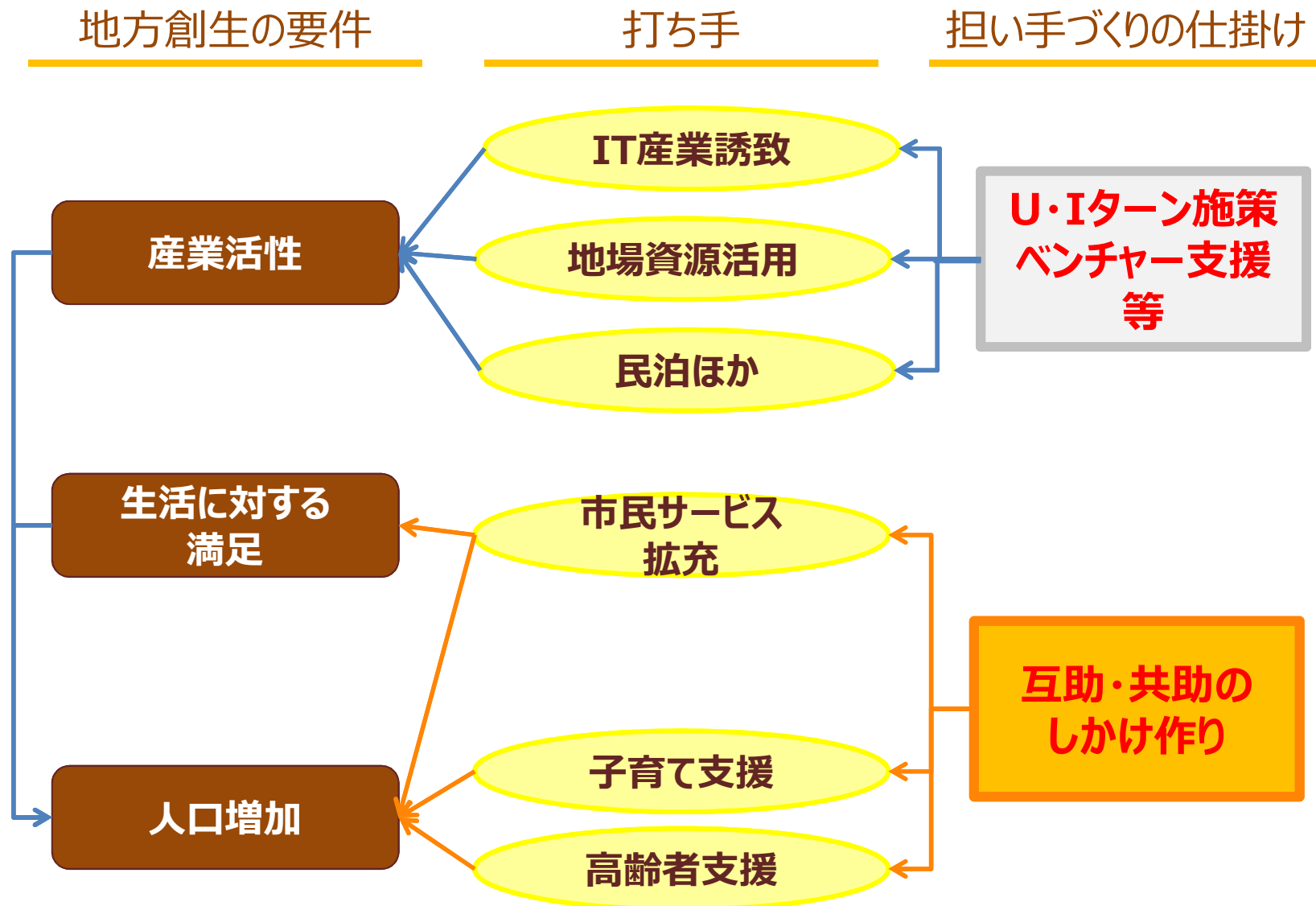
2015年11月-2016年1月

- エネルギー公社による第二電力に伴う市民サービス開発PJ支援
- 高齢者／子育て世代が生活に求めることの調査とりまとめと示唆

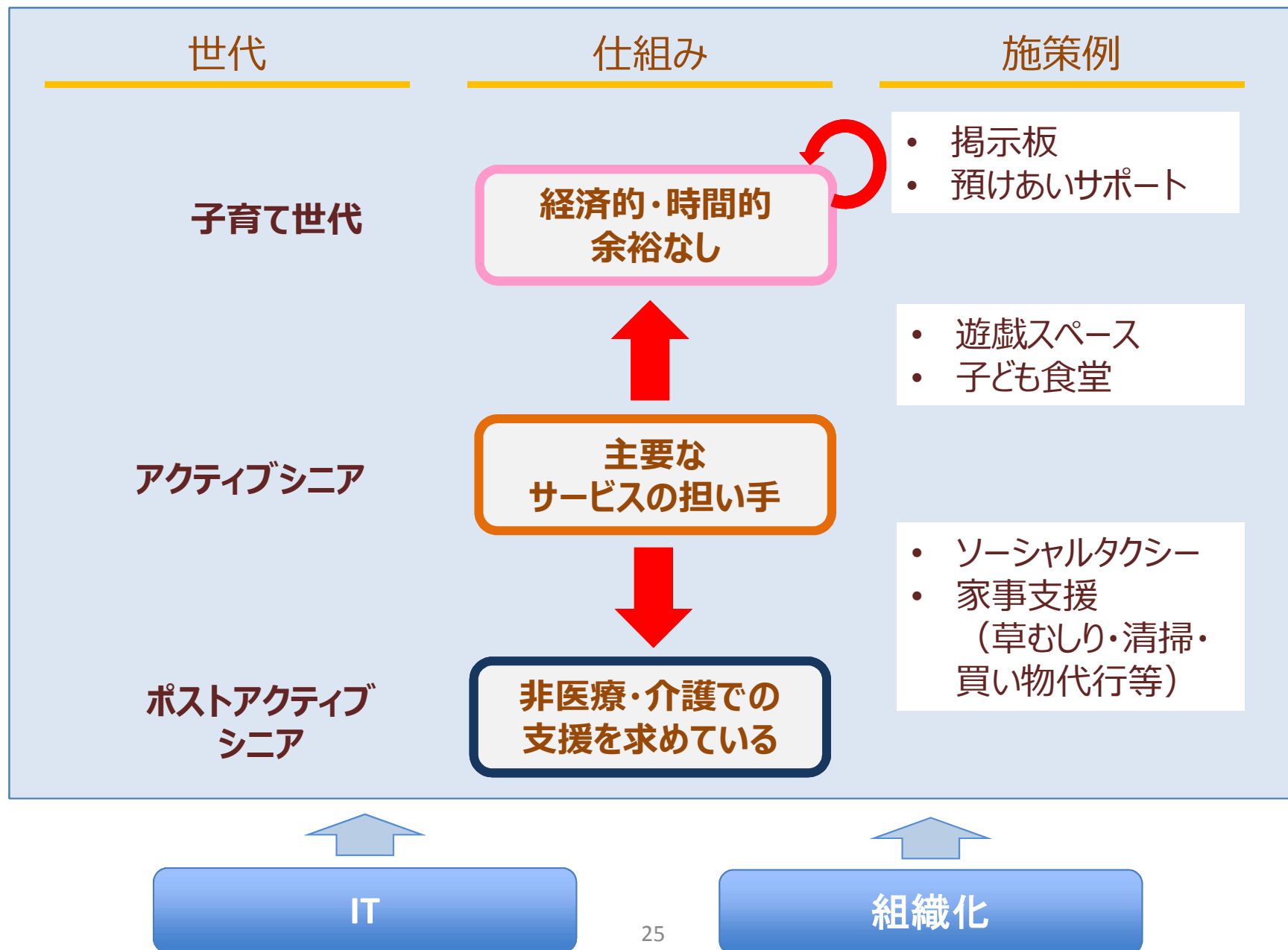
- アクティブシニアを巻き込む組織化の仕組み化を提案
- 第2フェーズが7月よりスタート、パイロットモデル実施を準備中

何を高齢者に提供すればいいかわからないケース

# 地方創生の鍵の一つとしての互助・共助の仕組み作り

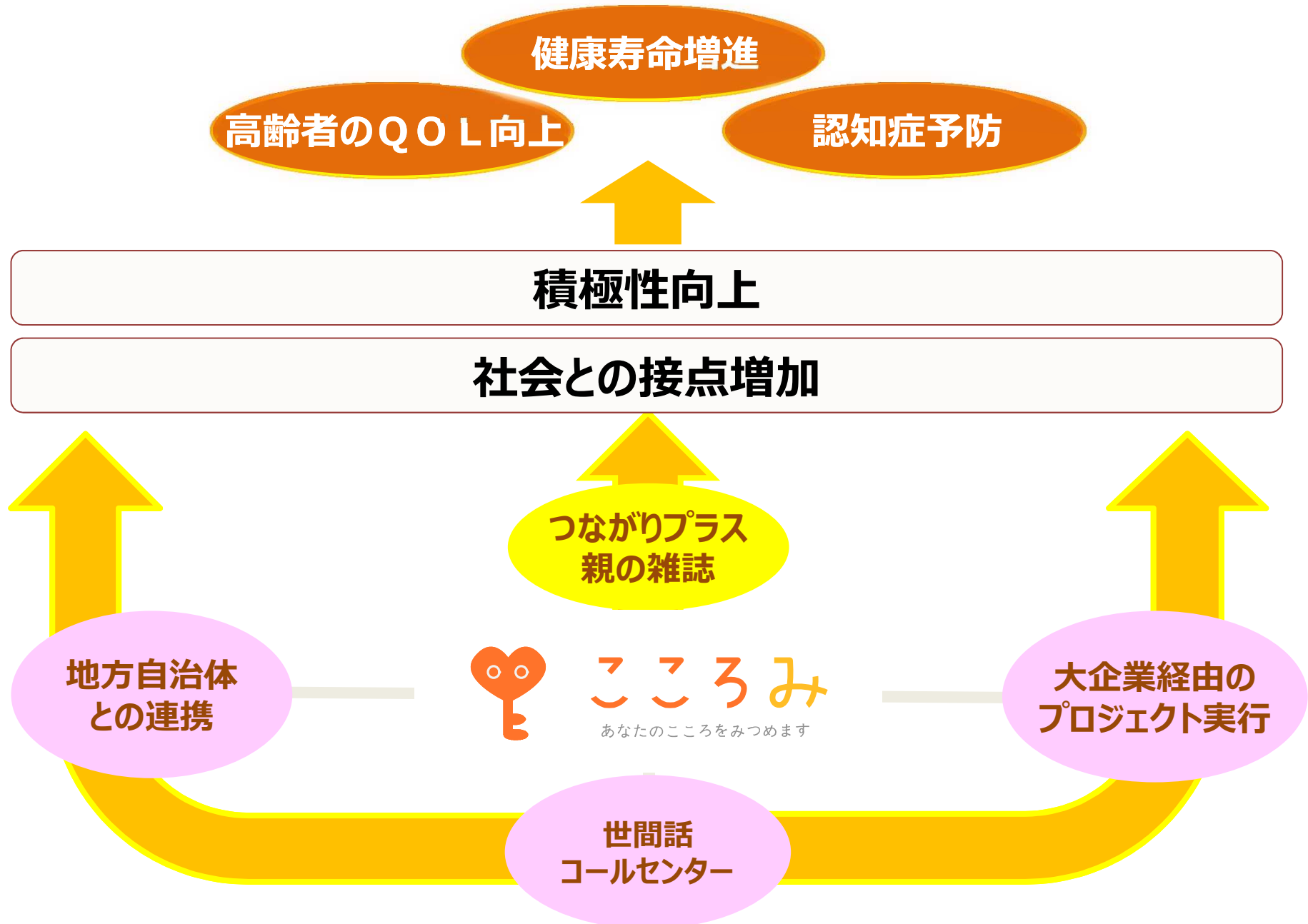


# 互助・共助の仕組み作り





# こころみの目指すところ





こころみ

あなたのこころをみつめます